

[計画] 1 / 2

問1 次の用語について説明しなさい。

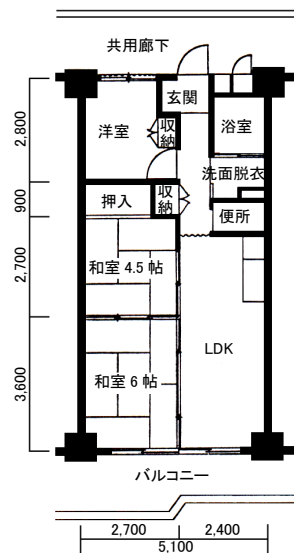
| 用語 | 説明 |
|--------------------|--|
| POE | Post-Occupancy evaluation の略。建物が完成し使用された後に使いやすさ・安全性・快適性などを評価し、設計や施工にフィードバックする。 |
| パーソナルスペース | 人間のまわりに広がる一種のなわばり、他人を入れたくない見えない領域。横は未知の人が近づいても寛容になれる (ロバート・ソマー)。 |
| コーポラティブハウス (ハウジング) | 居住者が自力もしくは事業者の企画を基に組合を組織して持ち家を共同建設する方法。個別の住要求が反映、住む事への価値観の共有。 |

問2 アトリウムの役割を異なる観点から3つあげ、その概要について述べなさい。

| 観点 | 概要 |
|-------|---|
| 雰囲気作り | 広がりを与える、求心性をつくる、緑豊かなリフレッシュの場をつくる。 |
| 動線計画 | EV やエスカレーター、階段などの上下をつなぐ装置を配置し、各ゾーンに至る廊下を接続することで、交通の結節点となり施設内の円滑な移動を手助けする。 |
| 環境工学 | トップライトによって低層部にまで自然光を導く。上部からの排気によって自然換気を促すことができる。 |

問3 右図に示す一般的なマンションの住戸を例にして、そこでの住生活において想定される問題点を3つ述べなさい。

- 採光・換気の問題：四畳半、浴室、便所には窓がないため自然採光・換気ができない。洋室は共用廊下に面しており実質的には窓として機能しない。
- 収納が少ない：収納の少なさを家具でカバーすると、その分部屋が狭くなり使い勝手が悪くなる。床に物が溢れてしまう。
- 使い勝手の悪い LDK：和室やバルコニーへの通過動線のために、実際に使える面積は小さくなる (半分程度)、家具の配置が制限される。六畳をリビングにせざるを得なくなる。



問4 特別養護老人ホームの居室群を計画する際に留意すべきことを、次に示すキーワードを全て使用して述べなさい。(キーワード：ケアユニット、水廻り、食堂、リビング、落ち着き)

8~10 人程度のケアユニットごとに個室、食堂、リビング、水まわり (洗面や便所、場合によっては浴室) を備え、落ち着きのある生活空間を形成する。個室はプライバシーを確保しつつ、リビングや食堂との近接性を保つ。水まわりは介助しやすい位置と広さを確保し、職員の見守りや動線にも配慮する。



[計画] 2/2

問5 ショッピングモールを計画する際に留意すべきことを、次に示すキーワードを全て使用して述べなさい。(キーワード: 移動、歩行空間、広場空間、シークエンス、回遊性)

ショッピングモール計画では、快適な歩行空間とスムーズな移動動線が重要である。まちの商店街の店舗を巡るようにシークエンスを工夫し、回遊性や滞在性を高める。さらに交流の場となる広場空間を歩行空間の結節点に設け、賑わいと魅力を創出する。

問6 以下に示す語句について、算出方法と設けられた目的について述べなさい。

| 語句 | 算出方法 | 設けられた目的 |
|------|--|--|
| 建ぺい率 | 建築面積の敷地面積に対する割合 (%)。 | 建築物と敷地境界線の間空間を確保することで、近隣の日照・通風・プライバシーを守り、延焼防止といった居住環境の維持・向上を図るために設けられている。 |
| 容積率 | 建築物の各階の床面積の合計(延床面積)の敷地面積に対する割合 (%)。前面道路幅員が12m未満の場合は、指定容積率よりも低くなる場合がある。 | 建築物の規模を規制することにより、まち全体の過密化を防ぎ、周辺の住環境や、交通・エネルギー・上下水道・ごみ処理施設などへの影響を及ぼさないために設けられている。 |

問7 以下に示す語句について、設けられた目的と制限(もしくは緩和)の概要を述べなさい。

| 語句 | 設けられた目的 | 制限(もしくは緩和)の概要 |
|-------------|---|--|
| 用途地域 | お互いの生活環境や業務の利便性を邪魔しないよう、市街地の適正な土地利用を図るため。 | 市街化区域を目標に応じた13種類に分け、建築基準法と連動して、建築物の用途・容積率・構造などに一定の制限を加える。 |
| 特定街区 | 市街地における特定の街区に対して整備・改善を図り、良好な環境を形成するため。 | 通常の容積率・高さなどを適用せず、緩和・調整されたその街区独自のルールが定められ、建築物の配置や形態を計画的に誘導する。 |
| 伝統的建造物群保存地区 | 城下町、宿場町などの伝統的な集落や街並みを保存するため。 | 建築物などの現状変更行為を行う場合は許可が必要となる。また、条例により、建築基準法の緩和などを行うことができる。 |

問8 ラドバーン方式におけるクルドサックの役割について述べなさい。

クルドサック(袋小路)を住宅地内のサービス道路として計画的に取り入れ、それとは別に歩行者専用のパス(小道)を裏庭に設置することで、通過交通を排除するとともに平面的に歩行者と車を分離することで、住宅地の安全性や快適性を高めた。